

映画美学校 言語表現コース

ことばの学校 第5期演習科 募集要綱

講師

佐々木敦

瀬尾夏美、高山羽根子、滝口悠生、古川日出男

よりラジカルな実践／実戦／実験へ！

お待たせしました！ ことばの学校演習科第5期演習科のご案内です。

完全オンライン講義の基礎科のネクストステップである演習科は、第5期も映画美学校の教室とオンラインのハイブリッド方式で開講します。そこはこれまでと同じなのですが、熟慮の末、カリキュラムを一部リニューアルすることになりました。

とはいっても大きく変えるわけではなくて、第4期までは5名の専任講師が各3回ずつ担当し、その合間に4人のスペシャルゲストをお招きするという形式でやってきたのですが、第5期はゲストを呼ばず、専任講師5人が各4回ずつ講義と指導を行うかたちになります。よりシンプルに、よりガチンコになったとも言えます。

講師陣は第3期から3期連続の滝口悠生さん、第4期から継続の瀬尾夏美さんに加えて、新たに高山羽根子さんと古川日出男さんをお迎えします！

この4名に僕を足した5人の専任講師が、寄ってたかってあなたの「ことば＝言語表現」を呼び覚まし、鍛え上げ、造り変えます。

いや、むしろあなた（たち）のことばで、私たちのことばを変えてください！

他の何とも似ていない「ことばの教室」でお会いしましょう。

映画美学校言語表現コース ことばの学校 主任講師 佐々木敦

【カリキュラム】

｜ 言語表現のさまざまなジャンルに触れ、「自分が自分だからこそ書ける言葉」を発見し、獲得することを目指します。

｜ 基礎科でさまざまな言葉のプロフェッショナルから得たことを、演習科では課題提出を通して、自身の言葉と表現を模索していきます。

｜ 演習科では、主任講師と大崎清夏（詩人）、瀬尾夏美（アーティスト）、滝口悠生（小説家）、伏見瞬（批評家／ライター）4名の専任講師による連続講義を実施。

｜ 演習科では、対面とオンライン併用のハイブリット型講義となり、受講生の都合に合わせてお選びいただくことが可能です。

【講義日程】

毎週木曜 19:00～

1	4月16日	木	19:00～	佐々木敦・1
2	4月23日	木	19:00～	佐々木敦・2
3	4月30日	木	19:00～	滝口悠生・1
4	5月7日	木	19:00～	滝口悠生・2
5	5月14日	木	19:00～	滝口悠生・3
6	5月21日	木	19:00～	滝口悠生・4
7	5月28日	木	19:00～	瀬尾夏美・1
8	6月4日	木	19:00～	瀬尾夏美・2
9	6月11日	木	19:00～	瀬尾夏美・3
10	6月18日	木	19:00～	瀬尾夏美・4
11	6月25日	木	19:00～	高山羽根子・1
12	7月2日	木	19:00～	高山羽根子・2
13	7月9日	木	19:00～	高山羽根子・3
14	7月16日	木	19:00～	高山羽根子・4
15	7月23日	木	19:00～	古川日出男・1
16	7月30日	木	19:00～	古川日出男・2
17	8月6日	木	19:00～	古川日出男・3
18	8月13日	木	19:00～	古川日出男・4
19	8月20日	木	19:00～	佐々木敦・3
20	8月27日	木	19:00～	佐々木敦・4

* 講師の都合により講義内容・日程が変更する場合がございます。

主任講師、専任講師プロフィール

佐々木敦（思想家・批評家・文筆家／主任講師）

音楽レーベルH E A D Z主宰。芸術文化の様々な分野で執筆などを行っている。著書多数。近刊として『「教授」と呼ばれた男 坂本龍一とその時代』（筑摩書房）、『成熟の喪失 庵野秀明と「父」の崩壊』（朝日新書）。

【専任講師】

瀬尾夏美（アーティスト）

土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつくっている。2012年より3年間、岩手県陸前高田市を拠点とした制作や対話の場づくりを経て、土地との協働を通じた記録と表現の実践を行うコレクティブ「NOOK」を立ち上げる。現在は江東区でstudio04を運営しながら、各地を旅し、物語を書いている。単著に「あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる」（晶文社）、「二重のまち／交代地のうた」（書肆侃侃房）、「声の地層」（生きのびるボックス）。

高山羽根子（作家）

1975年富山県生。多摩美術大学日本画専攻卒。2009年、「うどん キツネつきの」が第1回創元SF短編賞佳作に入選し、デビュー。2016年に「太陽の側の島」で第2回林芙美子文学賞、2020年に「首里の馬」で第163回芥川龍之介賞を受賞。近刊に『パンダ・パシフィカ』など。

滝口悠生（小説家）

1982年東京都生まれ。2011年「楽器」で新潮新人賞を受けデビュー。2015年『愛と人生』で野間文芸新人賞、2016年『死んでいない者』で芥川賞。2022年『水平線』で織田作之助賞、2023年同作で芸術選奨、「反対方向行き」で川端賞。他の著書に『寝相』『ジミ・ヘンドリクス・エクスペリエンス』『茄子の輝き』『高架線』『やがて忘れる過程の途中（アイオワ日記）』『長い一日』『ラーメンカレー』『さびしさについて』（植本一子との共著）『たのしい保育園』など。

古川日出男（作家）

1966年福島県生まれ。1998年のデビュー以来、掌篇から巨篇まで様々なタイプの小説を書き続けながら戯曲や評論、ノンフィクション、詩作品も発表。また朗読を軸とするパフォーマンスなどで他分野の表現者との共演・共作の機会も多い。2018年には佐々木敦氏との共著となる対談集も出版している。2026年4月に長篇小説『夏迷宮』を刊行予定。

公式WEBサイト「古川日出男のむかしとミライ」

<https://furukawahideo.com>

ことばの学校 第5期演習科 募集要項

募集人員：40名（最低開講人数：22名）

受講期間：2026年4月16日（木）から8月27日（木） 毎週木曜 19:00～22:00

教室：ハイブリット型講義

対面の場合：映画美学校（渋谷）渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F ほか

受講料：99,000円（税込）

※映画美学校通年講座を初めて受講される方は、上記の受講料以外に入学登録料(10,000円)が必要になります。実習費等の別途徴収はありません。

【分割のお支払いに関して】

半額 50,000円をお支払い、残り 49,000円を分割支払い

支払回数	金利	受講料金額	頭金	残金	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引落金額
5	4.20%	99,000	50,000	49,000	2,060	51,060	10,212

（単位：円／税込）

申込方法：オンラインによる申込

申込受付期間：2026年2月28日（土）15:00～4月3日（金）20:00まで。※定員に達し次第申し込みを締め切ります。

【申込フォーム】



<https://business.form-mailer.jp/lp/1f78fd21332055>

受講手続：申込書を映画美学校で受理後、メールにてご入金手続きの案内をさせていただきます。案内に従って、指定の期日までにお振込下さい。ご入金が確認された時点で申し込み受付完了となります。

※一旦納入された受講料は原則として返金できません。

※講義開始に関わらず、申込者の自己都合での解約による受講料の返金は原則お断りいたします。ただし、疾病等、本校がやむを得ないと認める事由についてはご相談に応じます（詳しくは映画美学校約款をご参照ください）。

お申し込み・お問い合わせ：映画美学校

〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F

電話番号：03-5459-1850 受付時間（月～土）12:00-20:00

映画美学校約款

■ 受講上のご注意

◎講義の写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。

◎持病のある方、あるいは体調不良になられた方は事務局にご相談下さい。

◎講義の際に使われる各種の機材・備品などの取り扱いは十分に注意して下さい。機材や備品を大切にすることは映画づくりの基本です。

◎館内での私物の管理は、各自で責任を持って行って下さい。賠償の責は負いかねます。また、受講生本人の不注意による事故や物的損害に対しても同様です。

◎当校は現役の映画人に講師をお願いしておりますので、講師のご都合またはやむを得ぬ事由により、講師やカリキュラムを変更することがあります。また、交通機関の混乱や、天災地変などやむを得ない事情で、カリキュラムを変更する事があります。

◎各コースのカリキュラムは、講師陣により日々検討を重ねております。そのため、要項に記載のカリキュラムが若干変更・修正される可能性もございます。変更・修正の際は理由を説明いたします。

◎急なカリキュラムの変更等、当校より緊急連絡をさせていただくことがございます。ご登録の氏名・住所・連絡先等に変更があった場合は、すみやかに事務局にお知らせ下さい。

◎受講希望者が一定の人数に達しないクラスは、開講を見合わせる場合もあります。

■ 受講取消の扱い

◎いったん納入した受講料は、原則としてご返金できません。各講座の予算は講師陣と事務局が協議して慎重に確定いたしますので、その後のキャンセルはカリキュラムの実現に重大な支障を来します。ただ、病気や転勤など、当校がやむを得ないと認めた場合は、開講日以前であれば下記の計算方法でご返金いたします。その場合、医師による診断書や勤務先の辞令（コピー可）など、受講不可能となった事由を証明する書類をご提出下さい。

■ 受講開始日より起算した返金額

30 日前まで：全額の 90%

29 日前～14 日前まで：全額の 75%

13 日前～7 日前まで：全額の 50%

6 日前～1 日前：全額の 25%

なお、講義開始後のお申し出は、お受けできません。

■ 安全面について

◎映画の撮影時には、スタッフ、キャストともに目の前のことに集中するので、事故が起こりやすいものです。事務局から配布される注意事項をよく読んで厳守し、撮影にかかわる人たち全員が安全面に配慮することで、絶対に事故を防ぐようにして下さい。将来、講座修了後も、映画を制作し続ける限り、一番大切なことです。なお、注意事項に書かれていないことは、遠慮なく事務局にご相談下さい。

◎非常口、避難通路などは事前にご確認下さい。災害が発生した場合は、必ず係員の指示に従って行動して下さい。

■ 著作権について

◎本校のカリキュラムの一環として制作された画像、動画、サウンド等の著作権は基本的に映画美学校に帰属します。従って、それらの全部又は一部および、授業風景等を録画・録音したものの全部又は一部を、本校の広報・業績・紹介目的のため、任意かつ無償で利用することがあります。その際、著作者の氏名の表示を省略することもあります。諸般の事情により支障のある方は、開講してなるべく早い時期に事務局にご相談下さい。なお、利用にあたっては、第三者の著作権、商標、名誉、信用、肖像権その他の権利を侵害しないように細心の注意を払います。